

個人情報の流出について

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（都産技研）バンコク支所において、セミナー開催案内を送受信した際に個人情報が流出する事故が発生しました。

関係者の皆様には多大なご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。
今後、このようなことがないよう、情報管理体制を徹底してまいります。

1 事故の概要

都産技研バンコク支所が同所の主催するセミナー案内を、利用者に宛ててメールリストを通じて送信した。セミナーの申込は受付専用アドレスに送信していただくよう案内していたが、メールリストを通じた返信を行うとバンコク支所だけでなく他の利用者にも送信されてしまう設定になっていた。そのため、参加希望者から返信されたメール 2 通が、メールリストに登録してある 1390 名に送られ、個人名等の情報が流出した。

(1) 発生日時

タイ時間 平成 29 年 8 月 17 日（木曜日）午前 9 時 30 分頃
（日本時間 同 午前 11 時 30 分頃）

(2) 発生場所

都産技研バンコク支所

(3) 流出した情報

セミナー参加希望のお客様 2 社 4 名分の氏名・企業名およびメールアドレス等の情報

2 経緯

- (1) 現地時間 8 月 17 日（木曜日）午前 8 時 40 分、バンコク支所職員がセミナー案内を送信する際に、メールリストを通じて送信。なお案内の本文中には、セミナー申込用にセミナー受付専用アドレスは記載。
- (2) 同日午前 9 時 30 分頃、メールリストに登録されたお客様より、他のお客様のセミナー参加申込書がメールで配信されてきたとの連絡を受ける。
- (3) 同日午前 10 時 15 分頃、メールリストに登録された利用者から謝罪のメールを送信するとともに、事故の発生の詳細が判明するまでセミナーのメールによる申込をしないよう依頼。
- (4) 同日午後 2 時 50 分頃、セミナー参加の申込をメールリストを通じて行う場合、申込の返信の内容が他のメールリストの利用者に送られない設定としていなかったことが判明。そのため、今回の申込の返信メールがメールリストにある利用者全てに配信される事故が生じたことが判明し、メールリストの利用を停止。
- (5) 同月 18 日（金曜日）、個人情報等が流出した 1 社 3 名のお客様に連絡し謝罪。
- (6) 同月 21 日（月曜日）、18 日に連絡の取れていない 1 社 1 名のお客様に連絡し謝罪。

3 事故発生後の対応及び再発防止

- (1) メールリストに登録のある利用者全員にお詫びのメールを送信し、事故の対象となったメールの削除を依頼した。なお、都産技研では現在までに同様の報告は受けていない。
- (2) 都産技研では、バンコク支所に対してメールでの案内方法について改善の検討を指示するとともに、全職員に対し、情報管理体制の強化、メール送信の適正な方法と事故発生時の対応についての周知を徹底。

本件についての問い合わせ先

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
経営企画部経営企画室
電話 03-5530-2426